

がっこう動物新聞



ごはんの話

写真提供：ハロー動物病院 林典子先生

- ① 一日2回、食器はいつもきれいに洗う。
- ② どの動物も『水』は必ずあげる。
- ③ 与える量は、その子によって違うので、体重の増え具合や、うんちの様子を見て決める。

ウサギ (体重が2kgの場合)

- ★ラビットフード…1日にカレーのスプーンに山盛り3杯。
(1回に15gぐらいを、1日2回 合計30g)
- ★牧草 (チモシー)…食べるだけあげる。
(どのくらい減っているかみてね)
- ★野草…タンポポ、オオバコなど。
- ★野菜…1日にあげる量は、野草とあわせて1カップに入るぐらい。(緑の葉ものをいろいろあげてみてね)



モルモット (体重が1kgの場合)

- ★モルモットフード…1日にカレーのスプーン山盛り2杯。
(1回に10gぐらいを、1日2回 合計20g)
- ★牧草 (チモシー)…1日に手のひらで2つかみ。
(1回に15gぐらいを、1日2回 合計30g)
- ★野草…タンポポ、オオバコなど。
- ★野菜…緑の葉ものを、野草と合わせて15gぐらい。



ハムスター

- ★ハムスターフード…ゴールデンなら1日にカレーのスプーンに軽く1杯。
(アワダマを混ぜる場合は少し減らす)
- ★野菜…ニンジン、キャベツ、ブロッコリーの葉や花などは、ほんとに少し。
- ★果物…あまりあげないでね。
- ★種子…あまりあげないでね。



ハムスターフードは、ジャンガリアンなどの小型種にはカレーのスプーン4分の1ぐらいにしてね

注意

ヒマワリの種は大好物だと思うけれど、体にはあまりよくないんだよね～



これらの量はあくまでも目安です

先生・保護者のみなさまへ

学校で飼育している動物に愛着を持つと、子ども達は「元気で長生きしてほしい」と思うようになるのが常です。そのために、いかに食事が重要かということを伝えていくことが、自分の体を健全に保つためのヒントになります。ご家庭で嫌いなものを食べなくて済んだり、朝ご飯を食べないで登校したりすることが、自分が生きていくことへのマイナスの効果になると気が付いて欲しいと私たちは思っています。

学校の動物を世話するとき、食欲はあるか、与えた食事をちゃんと食べているか、子ども達は気になります。動物にも好き嫌いがあったり、好きなものばかり食べたり、個性的な行動が見られます。そうするととても心配になり、大人に相談するかもしれないし、自分たちで工夫しようとするでしょう。嫌いなものでも体には大事だから食べないといけない、好きなものばかり食べていると体によくない、心をこめて世話をして食事を与えて、それをちゃんと食べてくれたら嬉しい、と子ども達は感じていきます。それが、自分を取り巻く大人が与えてくれる食事への配慮と自分の体を守るための食材への関心につながっていけば、子ども達の世界は社会へ大きな広がりを見せると思います。

クイズコーナー

だい1もん

ドラマの主演に決まったサカナってだ～れ？



だい2もん

「み」を取ると、読んだり書いたりできるしよくぶつはな～に？



なぜなぞだよ！

(答えはこの新聞のどこかにあるよ)

獣医師会は、学校の動物飼育を応援しています。学校で飼育している動物のことならどんなことでもご相談ください。

連絡先

一般社団法人 日本小動物獣医師会
〒105-0014 東京都港区芝2-5-7 芝Jビル5階
TEL 03-5419-8465